

インターネット上での出会いの危険性について

埼玉県教育委員会

インターネット上には、面識のない人と知り合い、気軽に交流できるサービスがたくさんあります。しかし、そうしたサービスで知り合った人と実際に会って、トラブルに巻き込まれてしまう事案もたびたび発生しており、見逃せない問題となっています。

面識のない人と知り合うことが多いサービスと、サービス上にいる悪意のある人物について

インターネット上で、面識のない人と知り合うことが多いサービスとしては、以下の3つがあげられます。

・SNS

多くのSNSにはDM（ダイレクトメッセージ）という、特定の利用者と個人的にやりとりできる機能がついており、面識のない人から突然このDMが送られてくるとも珍しくありません。

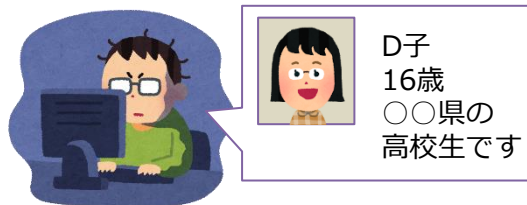
・オンラインゲーム

複数名でチームを組んでプレイするオンラインゲームでは、SNSなどで一緒にプレイする仲間を募集することもあります。チーム内では、電話のようにおしゃべりができるボイスチャットという機能を使ってゲームをプレイすることもあり、そこで意気投合して個別の交流につながっていくというケースもあります。

・コミュニティアプリ

コミュニティアプリでは、同年代の人や同じ趣味を持つ人を探して、やりとりすることができます。年齢制限が設けられているものもありますが、簡単に年齢を偽れるものも多く、学生限定のアプリを社会人が利用しているといったケースも少なくありません。

このようなサービスを使っている人の中には、サービス上で出会った人を誘い出すことを目的としているような、悪意のある人物もいます。こうした人物の中には、同性や同年代の人物を装い、時間をかけてやりとりを重ねて、相手との信頼関係を築いてから誘い出すような人もおり、信用して会いに行くと、誘拐されたり性的被害を受けたりすることもあります。



インターネット上のやりとりでは相手の様子が見えません。そのため、性別や年齢、顔写真などのプロフィールを簡単に偽ることができるのです。

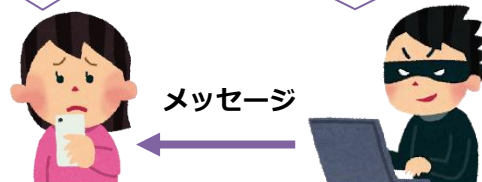
こんな投稿に注意しましょう

上で紹介した悪意のある人物がターゲットにすることが多いのが、ネガティブな投稿をしている人です。

SNSなどで「家出したい」「寂しい」「つらい」といった投稿をしている人を見つけるとメッセージを送り、やさしい人のふりをして相談に乗って、自分のことを信用させてから誘い出そうとします。

もう嫌だ
こんな家早く
出たい……

大丈夫？
よかったら相談
に乗るよ



インターネットには犯罪行為などを目的とした悪意のある人物もいること、インターネット上ではプロフィールを簡単に偽ることができることをしっかりと頭に入れて、インターネットを利用しましょう。